

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
アニリッチ683			6	8		3			100	元肥	200								
カキライム			1.1	0.2	0.6				100	土壌改良	200								
炭酸苦土石灰									100	土壌改良	適量								
オーガニック742			7	4	2				100	元肥	160~170								
キーゼライト	Mg27%								100	土壌改良	50								
アグリハーモニー	Mg14%								100	土壌改良	適量								
Sマグ	Mg33%								100	土壌改良	50~100								
グリーンコンボ(鶏糞)									100	堆肥									
自家堆肥									100	堆肥	1500								

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	不使用	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	23	
計画使用量	0	

*節減対象農薬

	当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除	
土壌消毒剤			
除草剤			
殺虫剤			
殺菌剤			
その他薬剤			
合計	5	10	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限		
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品
殺虫	ダントツ水溶剤	クロチアニジン		ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	2000									4	4
殺虫	デアナSC	スピネトラム		アザミウマ類、シロイモシヨトウ、ネギハモグリバエ、ネギ	2500~5000									2	2
殺虫	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド		シロイモシヨトウ	5000				0					3	3
殺虫	マッチ乳剤	ルフェエロン		シロイモシヨトウ	2000									3	3
殺菌	アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン		べと病	2000									4	5
殺虫	ブレオフロアブル	ピリダリル		シロイモシヨトウ、ネギアザミウマ	1000									4	4
殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン		ネギアザミウマ	2000									2	4
殺虫	アグリメック	アバメクチン		ネギアザミウマ	1000									3	3
殺菌	ダイナモ顆粒水和剤	アミスルプロム・シモキサニル		べと病	2000									4	4,4
殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール		シロイモシヨトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ	2000									3	4

備考:

化学肥料(窒素成分)は、上記のリストより使用、化成窒素成分は 栽培期間中 不使用。
 節減対象農薬は、5回までに抑えて使用します。
 アファーム乳剤の使用期限を2018/3/31とします。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	保温管理、播種、収穫	
2月	収穫	
3月	収穫	
4月	収穫	
5月	雨よけ管理、播種、収穫	
6月	太陽熱マルチ	
7月	気温低下 換気、遮光ネット被覆	
8月	例 8/中 播種、11/上~12/中 収穫	
9月	例 9/中~10/中 播種、12/下~3/下 収穫	
10月	ビニール被覆	
11月	収穫	
12月	収穫	

播種開始:	平成30年1月
終了:	平成30年10月
定植開始:	
終了:	
収穫開始:	平成30年4月
終了:	平成31年3月